

ねりま健育会病院

症 例 概 要 当施設では、入院患者さん、ご入居者の精神賦活のため、病院、老健合同で毎年クリスマス会を企画して実施している。今年は当施設が多職種スタッフで構成される「ねりけんバンド」に依頼して、12/25クリスマスコンサートを企画していたが、12月中旬に老健西フロアにてCOVID-19陽性者が発生した。12下旬時点で10名の陽性者を認めていたため、感染制御のため老健西フロアでの演奏は見合わせるようになったが、楽しみにしていたご入居者や、感染対策のため生活制限が発生しストレスが発生していることが想定されたため、院長はじめ何とか音楽を届けたいという思いで、中止ではなく中継でのコンサート視聴ができるよう、事務部とも連携して対応した。結果、感染禍にある西フロアのご入居者も含め、施設全体の患者さん、ご入居者にクリスマスを味わい、楽しんで頂けた。

内 容

ねりけんバンドは、ボーカルが医師、ベースがOT（リーダー）、ギターが看護師（師長）、ピアノ／エレクトーンが薬剤師、ドラムが放射線技師、といった多職種で構成されバンドである。納涼祭や敬老祭などの院内イベントのみならず、忘年会などの施設行事でも演奏を披露し、患者さんやご入居者、スタッフの精神賦活、慰労に貢献してくれている。

当施設では、季節感を味わっていただくこと、精神賦活のため、病院・老健合同でクリスマス会を今年度も企画をしており、今年はねりけんバンドに演奏を依頼していた。ところが、概要に記載したとおり、12/13に老健西フロアにてCOVID-19陽性者が発生したのを皮切りに、12/22時点で10名の陽性者を認めていた。陽性者や濃厚接触者は自室内での隔離の状況であり、感染制御やご入居者の混乱を防ぐため、老健西フロアでのバンド演奏は控える方針となったが、楽しみにされていたご入居者や行動制限によるストレスが発生しているご入居者のため、院長やディレクターなどの役職者、企画運営メンバーの方で協議した結果、オンラインで中継して演奏を届けることとなった。当日に向けて、老健の談話室や食堂のモニターに演奏の様子を中継できるよう、事務部中心にシステム環境の準備を進めていった。

結果、当日、回復期で開催したバンド演奏のみならず、感染禍にある老健西フロアのご入居者にもねりけんバンドの演奏を届けることができ、スタッフがサンタとトナカイのコスプレやハンドベル演奏を披露することで、クリスマスを味わい、楽しんで頂けた。中には涙を流して喜んで頂ける患者さん、ご利用者もいらっしや、その様子を見て涙するスタッフもいて、とても心あたたまる、元気をもらえる季節イベントとなった。開催後も感染も特に拡大することなく、感染対策と季節行事を両立することができた。

バンドメンバーのみならず、病院、施設全体で連携して、コロナ禍にも負けずに、まさしくOne



Teamとなって取り組み、患者さん、ご入居者のみならずスタッフも含めて満足と元気を与え、頂くことができたイベントとすることができたため、Good Our Team賞に推薦いたします。

院長・ディレクター：全体の責任、方針決定

Dr：ボーカル、主治医として活動へ参加許可

Ns・PT・OT・ST・CW：環境整備、会場準備、患者見守り、誘導、支援。

MSW：CS委員会として企画リーダー

事務部：WEB中継のシステム調整、当日の設営、支援、誘導